



## ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

# 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 6H4

1 609 92A 6H4 (2023.02)

(1 619 JT0 402)

## AdvancedGlue 18V

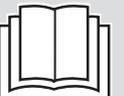


### 取扱説明書

このたびは、弊社コードレスグルーガンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



# 目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分 .....	2
一般安全規則 .....	2
グルーガンに関する安全規則 .....	7
記号について .....	8
●安全上のご注意.....	10
コードレス電動工具全般についての注意事項 .....	10
グルーガンについての注意事項.....	15
●本製品について.....	17
用途.....	17
各部の名称.....	18
標準付属品.....	19
仕様.....	20
●使い方.....	22
バッテリーを準備する .....	22
作業前の準備をする.....	24
作業する .....	26
●バッテリーを長持ちさせるために.....	31
●リサイクルのために .....	31
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください .....	31
●お手入れと保管.....	32
クリーニング .....	32
保管.....	33
電動工具(本体)の廃棄について .....	33
●困ったときは.....	34
故障かな?と思ったら.....	34
修理を依頼するときは.....	38

安  
全

本  
製  
品  
に  
つ  
いて

使  
い  
方

バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に  
つ  
いて

お  
手  
入  
れ  
と  
保  
管

困  
っ  
た  
と  
き  
は

# 安全規則

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 一般安全規則



取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

## a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

## b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。  
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。  
身体が接触すると、感電する危険が増大します。  
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
  - ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
  - ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
  - ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
  - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
  - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
  - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
  - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
  - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

## d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
  - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
  - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
  - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。  
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
  - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25°Cでの使用を前提としていますが、時折、35°Cになることも想定しています。

## e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

## f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

## g) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
  - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。



### 警告

- 次の注意事項を怠って機器を用いた場合、火災が発生する恐れがあります。
  - 可燃材がある場所で機器を用いる場合には、注意する。
  - 長時間、同じところに当てない。
  - 爆発性の雰囲気がある場所では用いない。
  - 熱が、見えないところにある可燃性材料に伝わる恐れがあることを認識する。
  - 使用後は機器をスタンドに置いて、収納する前に冷却する。
  - スイッチを入れている間は、機器を無人にしない。

## 記号について

本機には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安  
全

	直流
	ユーラシア経済連合の基準適合表示
	ウクライナの基準適合表示
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用されるWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	韓国の国家統合認証表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください

	<p>リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)</p>
	<p>リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)</p>
	<p>リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)</p>

# 安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

### 危険

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
  - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。  
電動工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**
- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
  - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- **コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
  - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
  - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。  
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
  - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。  
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
  - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

**警 告**

- 正しく充電してください。
  - ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
  - ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
  - ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
  - ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
  - ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 感電に注意してください。
  - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。  
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。  
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。  
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。  
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
  - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。  
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
  - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
  - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
    - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
    - 作業場所の換気に注意してください。
    - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
  
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
  - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
  
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け てください。
  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
  
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
  - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
  
- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
  
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
  - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。**
  - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
  - ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- **安全上のご注意は、必ず守ってください。**
  - ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

### ● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。



## 注 意

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
  - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
  - ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。**
- **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## グルーガンについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、グルーガンをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

安  
全

### 警 告

- **ボンドスティックは、必ずポッシュ純正品を使用してください。**
  - ◆ 純正品以外のものを使用すると、発火や故障の原因になります。
- **子供や本機の操作に知識のない人、補助を必要とする人には使用させないでください。**
  - ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- **電源を入れたまま電動工具を放置しないでください。**
  - ◆ けがや事故の原因になります。
- **頭上で作業するときは、保護メガネを着用してください。**
  - ◆ 溶けたボンドスティックが落ちたときに目を保護できます。
- **ノズル付近および溶けたボンドスティックは、高温になっています。身体が触れないようにしてください。**
  - ◆ 高温のノズルや溶けたボンドスティックに触れると、やけどを負う恐れがあります。
- **過熱したノズルのそばに、可燃性または熱に弱い材質のものを置かないでください。**
  - ◆ 火災や破損の原因になります。
- **電動工具を操作するときは、電動工具を人や動物、自分自身に向けしないでください。**
  - ◆ 熱くなったボンドスティックは、やけどを負う恐れがあります。

- 接着面を掃除するために、可燃性または引火性の溶剤を使用しないでください。
  - ◆ 火災の原因になります。有害な蒸気を発生させる恐れもあります。
- 使用の途中で電動工具本体を置く場合は、必ずスイングスタンドを使用し、立てた状態にしてください。
  - ◆ 電動工具本体を横向きに寝かせると、火災や故障の原因になります。
- 収納時にはバッテリーを外し、ノズルが十分に冷えたことを確認してから保管してください。
  - ◆ ノズルが十分に冷えていないと、火災や故障の原因となります。



## 注意

- 設定した温度が、ボンドスティックに適していることを確認してください。
  - ◆ 温度が高すぎると、ボンドスティックが溶解し、制御されていない状態で漏れる可能性があります。温度が低すぎると、ボンドスティックが材料に十分に結合しないことがあります。
- ボンドスティックを陽の当たる場所や火の近くに置かない(保管しない)でください。また、温度が高くなる場所への接着は避けてください。
  - ◆ ボンドスティックが溶解し、事故の原因になります。
- ボンドスティックを火中に投入しないでください。
- 予熱時間の間は、電動工具本体のメインスイッチを無理に引き込まないでください。
  - ◆ 電動工具本体破損の原因になります。
- 一度電動工具本体に差し込んだボンドスティックは、引き抜かないでください(引き抜けない構造になっています)。また、作業終了後の電動工具本体内部に残ったボンドスティックを排出する必要はありません。そのまま収納してください。
  - ◆ 無理に引き抜くと電動工具本体破損の原因になります。

# 本製品について

## 用途

- ◆ 紙、ボール紙、コルク、木材、皮革、生地、フォーム材、プラスチック\*1、セラミック、金属、ガラス、石の無溶剤接着や修理
- ◆ 装飾
- ◆ 模型製作

☞ 融点の低いボンドスティックを使用して130℃で作業すると、発泡スチロールなどの熱に弱い材料も接着できます。

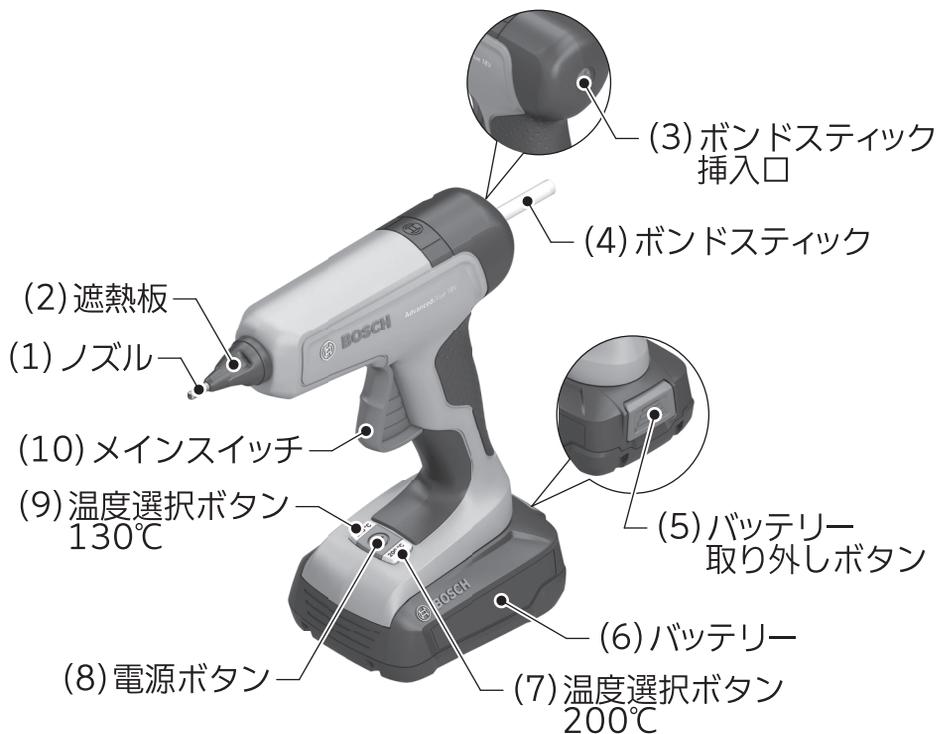
☞ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

\*1 ポリエチレン (PE)、ポリプロピレン (PP)、フッ素樹脂 (PTFE)、ポリ塩化ビニール (PVC) を除く

つ本  
製  
い品  
てに

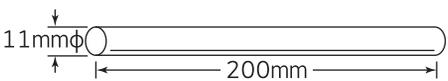
## 各部の名称

つ本  
製  
い品  
てに



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 標準付属品

モデル名	AdvancedGlue 18V
型番	ADG 118 H
 <p>ボンドスティック (クリア、11mmφ×200mm) 品番:306</p>	4本入

つ本  
製  
い品  
てに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕様

### 電動工具本体

モデル名	AdvancedGlue 18V
型番	ADG 118 H
メーカー製造番号	3 603 B64 8. .
定格電圧	D.C.18V
予熱時間*2	約2分
接着温度(選択可能)	130°C/200°C
接着剤吐出量(最大)	20g/分
ボンドスティック 直径 長さ	11mmφ 45~200mm
1充電あたりの作業時間*2(最大)	約10本分
質量*3*4	2.1~3.1kg
推奨充電周囲温度範囲	0°C~+35°C
使用可能周囲温度範囲*5	+5°C~+40°C
保管可能周囲温度範囲	+5°C~+40°C
原産国	ルーマニア

つ本  
製  
い  
品  
てに

\*2 バッテリーPBA 18V 2.5Ahを使用して20~25°Cで測定  
接着温度200°C

\*3 使用するバッテリーの容量により異なります。

\*4 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

\*5 0°C以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

## 使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18... *6
----	-------------

## 使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18..LIG*6 PBA. 18 PBA 18V....
----	---------------------------------------

\*6 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

-  本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。（フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。）  
ボッシュ電動工具ホームページ：<https://www.bosch.co.jp/pt/>

本  
製  
品  
に

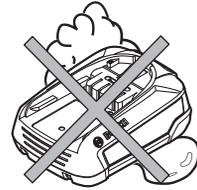
# 使い方

## バッテリーを準備する

- 👁️ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。（フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。）  
ボッシュ電動工具ホームページ: <https://www.bosch.co.jp/pt/>

### ● バッテリー（別売品）を点検する

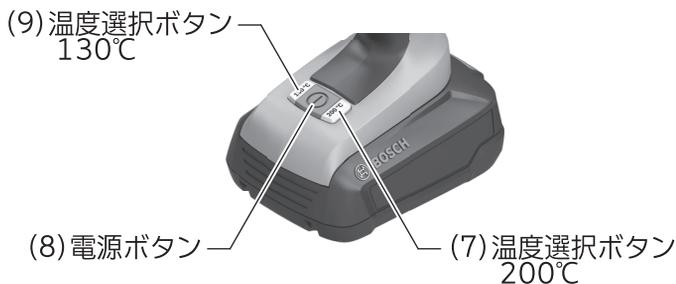
- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



### ● バッテリー（別売品）を充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

## ● バッテリー残量表示



バッテリー(6)の残量(目安)は、「温度選択ボタン200°C(7)」または「温度選択ボタン130°C(9)」で確認することができます。

温度選択で選ばれている側のボタンが点灯・点滅します。

「電源ボタン(8)」を押したとき、「温度選択ボタン200°C(7)」または「温度選択ボタン130°C(9)」が赤く点滅した場合は、バッテリーの残量が30%以下になっています。

「温度選択ボタン200°C(7)」または「温度選択ボタン130°C(9)」が赤く点灯した場合は、バッテリーの残量が0%になっています。バッテリーを充電するか交換してください。

使  
い  
方

## ● バッテリー(別売品)を取り付ける・取り外す



**警告**

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(6)を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチ(10)」に触れないように注意してください。

### 取り付け

バッテリー(6)を、電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



**注意**

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

### 取り外し



**注意**

- ◆ バッテリー(6)を引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン(5)」を押しながら、バッテリー(6)を電動工具本体から引き抜きます。

🔒 バッテリー(6)は無理に引き抜かないでください。

## 作業前の準備をする

### ● 専用ボンドスティックを挿入する



- ◆ ボンドスティック(4)は、必ずボッシュ純正品を使用してください。

電動工具本体後方のボンドスティック挿入口(3)にボンドスティック(4)を差し込み、突き当たるまで押し込みます。

☞ 加熱温度に適したグルーを使用してください。



☞ 一度電動工具本体に挿入したボンドスティック(4)は、引き抜かないでください。引き抜けない構造になっていますので、無理に引き抜くと、故障の原因になります。

## ● 材料を準備する

- 接着される表面が清潔で乾燥し、油などが付着していないことを確認します。  
表面が清潔で乾燥していないと、接着できないことがあります。  
表面がぬれていたり、油などが付着していたりするときは、きれいに拭き取り、乾燥させてください。



**注意**

- ◆ 接着される表面をきれいにするために、引火性の溶剤を使用しないでください。  
引火性の溶剤は加熱されたグルーにより発火する恐れがあります。有害な蒸気を発生させる恐れもあります。

- 接着する材料が熱に弱くないか端材などで確認します。  
熱に弱い材料（発泡スチロール、ビニールなど）は、グルーの熱で溶ける恐れがあります。
- 接着する表面が滑らかな場合は、やすりなどで接着面を粗くします。  
接着面がつるつるしていると、接着力が弱くなる場合があります。  
表面を粗くすると、接着力が強くなります。
- 接着する表面が凸凹な場合は、やすりなどで接着面を平らにします。  
接着面が凸凹していると、接着力が弱くなる場合があります。  
表面を平らにすると、接着力が強くなります。
- 熱を奪いやすい材料（石材・金属・ガラスなど）は、あらかじめホットエアガンなどで、材料を温めます。  
熱を奪いやすい材料は、グルーの熱が早く奪われます。  
材料を温めた状態でグルーを塗ると、接着力が強くなります。
- 接着する材料は、+5℃未満または+50℃以上にならないようにしてください。

使  
い  
方

## 作業する



- ◆ 加熱されたグルーやノズル(1)が人や動物に接触しないようにしてください。  
加熱されたグルーやノズル(1)は高温になっています。接触するとやけどする恐れがあります。
- ◆ 加熱したグルーが皮膚に接触したときは、直ちに患部を冷水に数分間当ててください。熱くなったグルーを、皮膚から剥がそうとしないでください。
- ◆ 長時間使用しないときは、電動工具本体からバッテリー(6)を取り外してください。

### 使 い 方

- ☞ あらゆる材料(ポリエチレン、ポリプロピレン、フッ素樹脂、ポリ塩化ビニールを除く)を接着することができますが、接着する材料や使用状況により、接着力は異なります。
- ☞ 作業周囲温度範囲・材料温度範囲は、+5℃～+40℃です。範囲を越えると接着できないことがあります。
- ☞ グルーは、湿気や熱の影響を受けると剥がれることがあります。

### 電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

電動工具本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために電動工具本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

電動工具本体が停止している状態で「メインスイッチ(10)」を引き込み続けると、故障の原因になります。電動工具が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

① 作業に適したボンドスティック(4)が挿入されているか確認する

② 電動工具本体にバッテリー(6)を取り付ける



- ◆ 「メインスイッチ(10)」に触れないように注意して、バッテリー(6)を取り付けてください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(6)以外は、取り付けしないでください。指定外のバッテリー(6)を取り付けると、電動工具本体が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

バッテリー(6)を電動工具本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。



- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

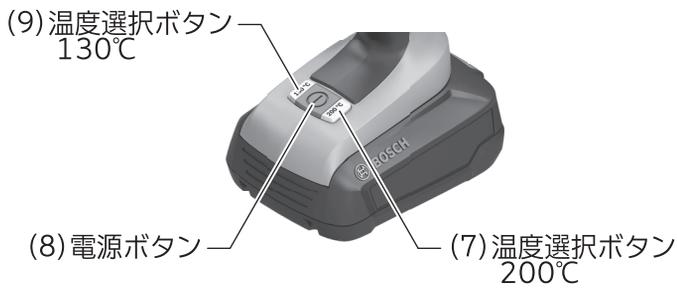
③ 電源を“入”にする

「電源ボタン(8)」を押します。

電動工具は、最後に選択されていた温度(200℃または130℃)まで加熱されます。必要に応じて、温度を変更してください。

加熱中は、選択されている側の「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」が緑色に点滅します。

「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」が緑色の点滅から点灯に変わったら、作業することができます。



- 👁️ 電動工具本体を10分以上使用しないと、電源が自動的に“切”になります。
- 👁️ 電源が自動的に“切”になった後、「電源ボタン(8)」を押しても電源が“入”にならず、「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」が赤く点灯した場合は、バッテリーの残量が0%になっています。バッテリーを充電するか交換してください。

## 温度の変更

温度は、200℃または130℃に設定できます。

「温度選択ボタン200℃(7)」を押すと、グルーが200℃まで加熱されます。

「温度選択ボタン130℃(9)」を押すと、グルーが130℃まで加熱されます。

☞ 作業中に温度を変更すると、目標温度に達するまで、選択された側の「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」が緑色に点滅します。

☞ 200℃から130℃へ変更した場合、冷めるまで数分かかる場合があります。

温 度	適した材料
130℃ 「温度選択ボタン130℃(9)」が点灯	熱に弱い素材(発泡スチロールなど) ☞ PE、PP、PTFE、および可塑化PVCには適していません
200℃ 「温度選択ボタン200℃(7)」が点灯	紙、ボール紙、コルク、木材、皮革、織物、フォーム材、プラスチック(PE、PP、PTFE、可塑化PVCを除く)、セラミック、金属、ガラス、石

### 4 材料にグルーを塗る

「メインスイッチ(10)」を引き込んで、グルーを材料に塗ります。

グルーは張り合わせる材料の一方のみに塗ってください。

大きな材料や長い材料を張り付けるときは、スポット状にグルーをつけてください。

柔らかい材料を張り付けるときは、線状にグルーをつけてください。

☞ 異なる材質の材料を張り合わせるときは、熱を奪いにくい材料の側にグルーを塗ると、接着しやすくなります。

例) 金属と木材を張り合わせる場合、木材の側にグルーを塗って張り合わせます。

☞ 連続して使用していると、一時的にボンドスティック(4)が溶けにくくなり、「メインスイッチ(10)」が押し込みづらくなることがあります。その場合は、「メインスイッチ(10)」を無理に引き込まず、しばらく待ってください。

☞ 服に付着したグルーは、取り除くことができません。

## 5 材料を張り合わせる

グルーを塗った直後に、材料を張り合わせます。

張り合わせた直後に、接着したい材料同士を約30秒間押しつけます。

この時点では、まだ貼り付け位置を補正することが可能です。

接着後、約5分の冷却時間で接着面が固定されます。



- ◆ 熱いグルーに触れないようにしてください。多孔質の部分を押し付けるときは、シリコンマットを使用して、押し付けてください。

## 6 作業を終了する

1. 点灯している側の「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」が消灯するまで、「電源ボタン(8)」を押し続けます。

2. 電動工具体を人や動物にノズル(1)が接触しない安全な場所に置き、ノズル(1)が十分に冷えるのを待ちます。



- ◆ ノズル(1)は高温になります。接触するとやけどをする恐れがあります。

3. ノズル(1)が十分に冷えたら、ノズル(1)に付着しているグルーを、やわらかい布などで取り除きます。

 取り除きにくいときは、再度電源を入れて加熱して冷ますと、取り除けることがあります。

## ● ノズルを交換する



- ◆ ノズル(1)付近は高温になります。やけどする恐れがありますので、身体が触れないように注意してください。



- ◆ ノズル(1)を交換するときは、保護手袋を着用してください。

 ボッシュ純正ノズル(1 600 A02 EU3)のみを使用してください。

1. 電動工具本体にバッテリー(6)を取り付けます。  
(23ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)
2. 「電源ボタン(8)」を押して、電源を“入”にしてグルーを温めます。  
ノズル内のグルーが固まった状態では、ノズル(1)を取り外すことはできません。  
グルーを短時間温めてください。



- ◆ 長時間温めると、高温になり危険です。温めすぎないように注意してください。

3. 点灯している側の「温度選択ボタン200°C(7)」または「温度選択ボタン130°C(9)」が消灯するまで、「電源ボタン(8)」を押し続け、電源を“切”にします。
4. 遮熱板(2)を持ち、ノズル(1)を反時計方向に回して取り外します。  
ノズル(1)を上に向けて作業を行うと、グルーの流出を防げます。



- ◆ 加熱されたノズル(1)は、先端が高温になります。触れるとやけどの恐れがあります。遮熱板(2)のみを持って取り外してください。

5. 新しいノズル(1)を取り付け、時計方向に回して固定します。

## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

## リサイクルのために

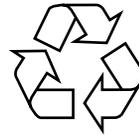
### 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポツシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシュ電動工具取扱店、ポツシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ  
バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますようお願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

# お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(6)を電動工具本体から取り外し、お手入れしてください。

## クリーニング

### ● 通風口などに付いたホコリを取り除く

☞ 電動工具本体にホコリがたまると故障の原因になります。

### ● バッテリー取り外しボタン(5)やバッテリー差し込み部に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

### ● 乾いた、柔らかい布で電動工具本体の汚れをふき取る

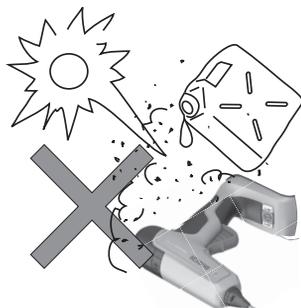
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



### ● ノズル(1)に付いたグルーを柔らかい布などで取り除く

### ● 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。
- 電動工具本体が完全に冷めてから保管する。



### 電動工具(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動工具本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各  
地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

# 困ったときは

## 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
充電してもフル充電しない、またはフル充電しても使用時間が短い	バッテリー(6)の寿命が尽きた	バッテリー(6)を交換する
ボンドスティック(4)が送られない	ボンドスティック(4)がなくなった	新しいボンドスティック(4)を挿入する
	ボンドスティック(4)が太すぎるか、細すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)が短かすぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する 新しいボンドスティック(4)を挿入する
ボンドスティック(4)が電動工具体から抜ける	ボンドスティック(4)の直径が小さすぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
「メインスイッチ(10)」を離した後も長時間グルーが出る	ボンドスティック(4)の融点が低すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)の融点より設定した温度が高い	「温度選択ボタン130℃(9)」を押して、温度を下げる
「メインスイッチ(10)」を引き込んでいないのにノズル(1)からグルーが継続する	ボンドスティック(4)の融点が低すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)の融点より設定した温度が高い	「温度選択ボタン130℃(9)」を押して、温度を下げる

困ったときは

症 状	原 因	対 処
ノズル(1)からグルーが出にくい	ボンドスティック(4)の直径が太すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)の融点より設定した温度が低すぎる	「温度選択ボタン200℃(7)」を押して、温度を上げる
グルーが後ろに流れて固まり、ボンドスティック(4)が送られない	ボンドスティック(4)が細すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)の融点より設定した温度が高い	「温度選択ボタン130℃(9)」を押して、温度を下げる
グルーが一定に出ない	ボンドスティック(4)の融点が低すぎる	推奨されるオリジナルのボンドスティック(4)を使用する
	ボンドスティック(4)の融点に設定した温度が合っていない	「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」で適した温度に設定する
	「メインスイッチ(10)」を引き込む力が一定でない	「メインスイッチ(10)」を均一な力で引き込む
グルーが接着面の片側にしか付かない	材料が完全に接着する前にグルーが一部固まった	材料をすばやく接着する
		グルーを全面に塗らず、点付けする
		接着面をあらかじめ熱風で温める
		「温度選択ボタン200℃(7)」または「温度選択ボタン130℃(9)」で適した温度に設定する

困ったときは

症 状	原 因	対 処
冷めた後、グルーが取れる	接着面が油っぽい	接着面から油を拭き取る
	接着面がつるつるし過ぎている	接着面を少し粗くする
	接着面がほこりっぽい	接着面をきれいにする
	ボンドスティック(4)が接着材料と合っていない	材料に合ったボンドスティック(4)を使用する
	湿気にさらされている	乾燥した環境で作業する
	周囲温度が高すぎるまたは低すぎる	使用可能周囲温度範囲(+5℃～+40℃)内で作業する
湿気のある場所に設置したタイルが取れる	接合箇所に湿気が染み込んだ	材料に合ったボンドスティック(4)を使用する
		セメント系のボンドスティック(4)を使用する
接着した靴底が取れる	水で革がふくらみ、水が接着面に染み込んだ	材料に合ったボンドスティック(4)を使用する
接着終了時にノズル(1)を離すとき、グルーが糸を引く	グルーを付け終わった後にボンドスティック(4)が送られた	グルーを付け終わる少し前にボンドスティック(4)の送りを止める
	ノズルが汚れている	接着終了時にノズル(1)を材料で拭くようにして離す
材料が溶ける	材料がポリスチレンなど低温で溶ける材質でできている	[温度選択ボタン130℃(9)]を押して、設定温度を下げる
	ボンドスティック(4)が材料に合っていない	材料に合ったボンドスティック(4)を使用する

困ったときは

症 状	原 因	対 処
作業中に指をやけどする	グルーが紙に染み込む	材料を手で持たない
		材料にグルーを付けるとき、材料を耐熱性シリコンマットや台に載せる
	グルーが生地に染み込む	材料を手で持たない
		材料にグルーを付けるとき、材料を耐熱性シリコンマットや台に載せる
	金属の材料が熱くなっている	材料を手で持たない
		材料にグルーを付けるとき、材料を耐熱性シリコンマットや台に載せる
材料をクランプする		

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。  
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。  
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407



